



校訓：「感謝」「勤勉」「鍛錬」

商業科通信

2023年4月10日(月)

秋田商業高等学校
商業科

文責：柏谷亜紀子

大正9年開校
創立103年目

新学年は得意科目を作るチャンス！！

入学・進級おめでとうございます。いよいよ令和5年度がスタートします。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束していませんが、制限されていた行動が緩和され、さまざまなことに挑戦できる生活に戻りつつあります。

皆さんは今年度の目標は決まっていますでしょうか？新しい学年になった時は、得意科目を作るチャンスです。商業科目は、1年ごとの履修の科目が多く、常に新鮮な気持ちになれます。また、簿記や情報処理で得意不得意があったとしても、新しい科目は、全員同じスタートラインに立っています。ぜひ、この年度初めを大切にしてください。得意科目が増えると学校がさらに楽しくなります。得意科目をたくさん作りましょう！！

自分の可能性を信じて、充実した1年になるように一緒に頑張りましょう。

【1学期の商業系検定】

- 6 / 1 1 日商簿記検定
- 6 / 1 8 全商ビジネス計算実務検定
- 6 / 2 5 全商簿記実務検定
- 7 / 2 全商ビジネス文書実務検定
- 7 / 9 全商ビジネスコミュニケーション検定

この他にも本校で実施できる検定があります。申込締切は概ね試験実施日の1か月半～2か月前です。教室に案内を掲示しますので、よく確認し、積極的に挑戦しましょう。

全商の各検定は、問題形式や難易度など、全商HPで過去問が掲載されています。参考にしてください。

『商才』は道徳を根底としている。不道徳やうそ、外見ばかりで中身のない「商才」など、決して本当の「商才」ではない（『論語と算盤』ちくま新書より）

これは、日本資本経済主義の父と称される渋沢栄一の考えです。皆さんは、ビジネスを学ぶ者として、この言葉をどう解釈しますか？ぜひ、自分を振り返るきっかけにしてみてください。

卒業生の活躍

～3年ぶりITパスポート合格～

3月に卒業した情報コース鈴木詠太さん（進学先：秋田県立大学経営システム工学科）が本校では3年ぶりとなるITパスポートに合格しました。この試験は国家試験で、ITを利活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識を持っていることを証明するものです。

～鈴木詠太さんからのアドバイス～

とても難しい試験で結果が出るまでとても不安でしたが、無事に合格することが出来てとてもうれしく思います。難易度がより高い基本情報技術者試験にも挑戦する意欲が湧きました。

勉強方法に関しては、基礎である単語から始め、過去問をひたすら解きました。基礎的な問題もかなり出題される印象だったので、こつこつと暗記していき、計算問題を後回しにすると効率がいいと思います。また、時間を有効活用できるスマホアプリでの勉強を活用していくことで、より学習が充実していくと思います。

試験本番は、コンピュータでの試験なので、実践形式での練習もしておくと思います。

近年はネット環境が整備され大企業だけでなく中小企業や様々な業種でICTが普及しています。そのような中でITパスポートなどの国家試験に挑戦することは、さまざまな分野で活躍する力を身につけることにつながります。

皆さんも、将来につながる資格取得に積極的に挑戦してみてください！！

授業紹介～広告と販売促進～（3年流通経済コース）～

実際に販売されている商品ポスターを制作しました

昨年度、3年流通経済コースの「広告と販売促進」の授業において、Illustratorを使って商品・店舗のポスターを制作しました。制作したポスターは、商品を扱っている店主に見ていただき、実際に店頭で使っていただきました。教科書だけでなく、実際に売られている商品を教材にしたことで、実践的な学習を行うことができました。

★『パンプキンパイ』のポスター制作

J A大潟村のロングセラー商品となっている『パンプキンパイ』のポスターを制作しました。

かぼちゃ加工工場に見学に行き、生産者から直接聞いた商品に関することや現在の状況などをもとに、プロモーションのためにはどのようなメッセージを発信するかなどを考え、2年生で学習したマーケティングの知識をもとに制作しました。

完成したポスターは、デザインの意図やコンセプトなどの説明文を添えて、J A大潟村の方々に見ていただきました。

好評だった作品は、「特産カボチャ生産組合長賞」「J A大潟村組合長賞」「パンプキンパイ工場長賞」をいただきました。

完成したポスターは、販売促進のため店舗に掲示されました。



↑
カボチャ加工工場を見学



←みんなで試食



Aコープ大潟村



アグリプラザ大潟

★飲食店のポスター制作

秋田市内の飲食店に出向き、店主の理念や店舗の雰囲気などを生徒が自分の目で直接確認し、ポスターやメニュー表を作成しました。

ターゲットやコンセプトなどを明確にすることで、パソコンでの制作も効率よく行うことができました。



店舗に行き、店主の話を聞き、商品について調査



佐藤文太さんの作品（令和4年度卒業）